

盛地申6号 提出しました！

「盛岡支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について」に関する申し入れ

本施策は、「変革2027」の実現のために、統括センター及び営業統括センターを設置する提案ですが、融合のイメージや柔軟な働き方のイメージがつかず、組合員・社員は多くの不安を抱えています。安全で働きがいのある職場を創るために申し入れを提出しました！

申し入れ項目



1. 本施策を実施する目的を明らかにすること。
2. 本施策は「モチベーション向上が最大の目的」と言われているが、本施策によってどのようにモチベーションが向上するのか明らかにすること。
3. 「融合」「兼務」「連携」の考え方を明らかにすること。
4. 通勤の考え方を明らかにし、通勤手当支給基準の「一番遠方地」の考え方を明らかにすること。
5. 駅輸送業務における職務手当の考え方を明らかにすること。
6. グループ会社との兼務は行わないこと。また、グループ会社から業務を受託する場合は労使で議論すること。
7. 委託駅またはコーナー委託業務を本体に戻す場合は労使で議論すること。
8. 「主たる業務」を明確にし、業務に責任と誇りを持つ体制とすること。
9. 本施策で実施する箇所を選定した基準や目的を明らかにすること。
10. 本施策で実施する箇所体制の内訳を明らかにすること。また、業務に必要な要員は確保すること。
11. 本施策で実施する箇所の業務内容と地区センターの業務と融合する内容を明らかにすること。また、業務に必要な資格・適性を明らかにし、運転適性・医学適性は取得可能者全員を取得させること。
12. 業務に必要な教育内容を明らかにし、各系統のプロを育成するための教育を行える体制を業務ごとに構築すること。
13. 働き方のイメージを日及び時間単位で明らかにすること。また勤務作成時の指定方法を明らかにすること。
14. 個人ロッカーの設置箇所を明らかにし、個人ロッカーがない箇所へは共用ロッカーを整備すること。
【気仙沼統括センター】
15. これまでの気仙沼 BRT 営業所が担ってきた役割を明らかにすること。また、対外的な名称を明らかにし「BRT」の名称を残すこと。
16. BRT 営業所はダイヤ改正日前までの業務が増えるため、要員を増やす等の対策を講じること。
【青森営業統括センター】
17. 月報の取扱いを明らかにし、青森駅と新青森駅それぞれの駅で作成すること。
18. 青森駅のLED発車標の入力作業を誰が行うのか明らかにし、業務を担える体制を構築すること。



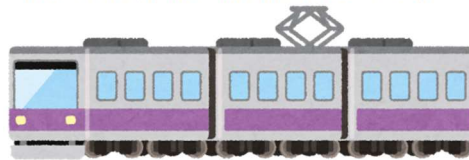
「安全・健康・ゆとれ・働きがい」が担保された職場を創ろう！

盛地申7号 提出しました！

「2022年3月ダイヤ改正について」に関する申し入れ

盛岡地本は12月20日に「2022年3月ダイヤ改正について」の提案を受け、組合員との議論を行ってきました。今ダイヤ改正では、各線区におけるお客さまの利便性向上や、ご利用状況に合わせた輸送体系の見直しを図るとしています。また昨年からの変化点としては、現業機関における柔軟な働き方の推進の趣旨を踏まえ、業務量の示し方が「標準数」ではなく「出面数」で示されています。新型コロナウイルス感染症の第六波が急激に広がってきている中でも、全社員一丸となって安全安定輸送の確保とサービス品質の向上、お客さまのご期待に応える「輸送サービス」の創出に向け取り組んでいかなければなりません。そのために全社員の「安全・健康・ゆとり・働きがい」が担保された業務体制の構築が必要です。

申し入れ項目



【共通】

1. 乗務員の休養室、トイレ及び浴室の整備について昨年からの進捗状況を明らかにすること。
2. 要員の示し方について、系統別に詳細を明らかにすること。
3. 運転士養成について車種毎・職場毎の養成計画と指導操縦者の人数を明らかにすること。また、新規車掌研修と新規運転士研修のスケジュールを明らかにし、開催時期・養成期間が重複しないようにすること。
4. 車掌において、臨時列車運行時は運転線区・使用車両に関する事前教育を行い、複数人対応できる体制を構築すること。また、事前教育は「現車の見学・実線区の乗務」を基本とすること。
5. 駅区境界授受時分、各出先の折り返し時間、整理時間や準備時間等の考え方を明らかにすること。

【八戸運輸区】

6. 運転士と車掌の融合の考え方を明らかにし、乗務員が不安なく乗務できる体制を構築すること。
また、行路内での運転士と車掌の切替は1回とすること。

【一ノ関運輸区】

7. 大船渡線324Dは乗車率が上がることが想定されるため、乗車指導を行うこと。
8. 車掌におけるこの間の北上線補完養育の成果と課題を明らかにし、北上線及び大船渡線の補完教育は、3ヶ月に1回以上とすること。また、大船渡線のポケモントレイン乗務は補完教育に含まず普通列車で補完教育を行い、ポケモントレインは補完教育修了者とすること。

【盛岡運輸区】

9. 遠野駅の「折1 停目」の建植位置を運転士側に建植、または建植位置を高くすること。

安全で働きがいのある職場を創るために、職場議論を巻き起こそう！

盛地申8号 提出しました！ 「駅の体制見直しについて」に関する申し入れ

盛岡地本は12月20日に「駅の体制見直しについて」の提案を受け、組合員との議論を行ってきました。本提案は「当社を取り巻く環境の変化等を踏まえ、効率的な駅業務体制を構築していく」ことがめざされています。具体的には、八戸駅の窓口営業時間や改札営業時間を実態に合わせる観点での見直しとしていますが、職場ではお客さまサービスの低下や、要員が少ない中での見直しであり、不安や不満の声が出されています。また、「駅の変革」では、駅を「情報発信の拠点」「価値創造・収益拡大の拠点」「人材育成の拠点」として磨き上げるとしていますが、その大前提は「駅社員の働きがい」なくして達成しえないと考えます。

新型コロナウイルス感染症の第六波が急激に広がってきている中でも、全社員一丸となって安全安定輸送の確保とサービス品質の向上、「駅の変革」でめざされている「輸送を守る」「新たな価値創造・収益拡大」をめざして取り組んでいかなければなりません。

申し入れ項目



1. 八戸駅の体制見直しを行う根拠を明らかにすること。
2. 通勤者でも対応可能な作業ダイヤとし、前泊を前提としないこと。
3. 職場の要員実態を明らかにし、窓口に対応できる要員を確保すること。
また、繁忙期には3窓体制を確保できる要員確保を行うこと。

体制変更によって働きがい低下しないように
仲間と議論し働きがいのある職場をめざそう！

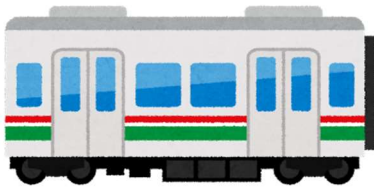
盛地申9号 提出しました！

「ワンマン機器故障時の取扱いについて」 に関する申し入れ

盛岡地本はこの間、安全・安定輸送を前提にワンマン運転を担ってきました。ワンマン運転を実施するにあたり、ワンマン運転できる線区や機器故障時の取扱いについても、その都度労使で議論してきました。

今回会社から、ワンマン機器故障時の取扱いを一部変更する説明を受けました。この取扱いは始発駅場面での取扱いの一部変更であり、お客さまはもとより組合員・社員の安全に関わる取扱い変更であると認識しています。また「大幅な遅延や列車運休を減らし、お客さまへの影響を最小限に留めること」を目的としていますが、その大前提は安全でなければなりません。

組合員・社員が更に輸送品質の向上と、サービスレベルの向上、そして安全・安定輸送の確保をするために下記の通り申し入れを提出しました！



申し入れ項目



1. ワンマン機器故障時の取扱いに関するこれまでの考え方と変更する目的を明らかにすること。
2. ワンマン機器故障時の取扱いにおける「始発駅」の定義を明らかにし、「列車ダイヤ上の最初の駅」を「始発駅」とすること。
3. ワンマン機器故障時の取扱いにおける、運転士が対応可能なワンマン機器故障内容と運転士の取扱いを明らかにすること。また、ワンマン機器故障時は乗務員の状況を考慮し判断すること。
4. ワンマン機器故障時の取扱いは安全を大前提とすること。

安全 + 第一

取扱い変更によって運行優先とさせず
安全最優先で乗務しよう！